

●**受検に必要な用具**(※いずれの試験も試験時間中の用具の貸し借りは禁止です。)

2級・3級実技試験

持ち物	注意事項
受検票	試験終了後も合格発表まで保管すること。
顔写真付きの身分証明書	学生証・免許証など。
筆記用具	鉛筆またはシャープペンシル。消しゴム。
シーティング	類似課題にあわせてパーツごとに見積もって裁断し、地直しして持参してください。 なお、CB、CF、BL、袖中心線、袖わたり線を記入可。 地直しのためのガイド線以外が入っている場合や接着芯が貼ってある場合は受検不可。 ボタン持参可。
肩パッド(2級のみ)	課題から判断して持参して下さい。
原型 	当日使用するボディに合う原型が望ましい。使用可能原型に関してはHPを参照。 外周線でカットしていなくても使用可。
各種定規 	方眼定規、直角定規、カーブ定規など使用可。 試験会場に持ち込む定規は通常市販されている状態のもの。それ以外の「印」等がつけてある場合は使用不可。 工業用パターン記号・製図方法が書き込まれている定規「テンプレート」は使用不可。 詳しくはHPの「使用可能・不可なテンプレート」を参照。
パターン用紙	白ハトロン紙(無地)。パーツごとの大きさにカットして持参しても良い。 マーキング等がされている場合は受検不可。 原型をあらかじめパターン用紙に描き込むことは禁止。
用具	プッシュピン、カッター、カッター下敷き、文鎮、分度器、コンパス、メンディングテープ、ルレット、チャコペーパー、ハサミ(ローラーカッターも可)、シルクピン、ピンクッション、手縫い糸と針、黒テープ、ホチキス、トレーシングペーパー、接着芯など ※ゲージ類の持ち込みは不可。
電卓	携帯電話など電卓以外の機能がついているものは不可。

※実技試験で使用したシルクピンや肩パッド等については返却できません。

●実技試験使用ボディ

当協会の実施するパターンメイキング技術検定試験で使用するボディは、次の通りです。

受検者は、実技試験会場が決定後、会場の使用ボディ(ボディ名、寸法)を確認し、原型の準備をすること。

「2級」：JIS規格サイズ [9R(旧：9AR)] に対応するボディを使用。

「3級」：全国各会場の保有ボディを勘案し、次の通りとします。

① JIS規格サイズ [9R(旧表記：9AR)] に対応するボディを使用。

② JIS規格サイズ [9R(旧表記：9AR)] に対応するボディが準備できない場合は、JIS規格サイズによる基本身体寸法・身長158cm、バスト83cm、ウエスト64cm、ヒップ91cm (20歳代)に対応するボディを使用。

③ さらに、上記①②の準備が整わない場合は、それに準ずる規格のボディを使用。